

## 基本施策 6 1 基本的人権の尊重

- ・基本施策の成果指標においては、人権を意識して生活している割合は高いものの、男女が平等だと思う市民の割合と、「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識を肯定する人の割合はとても低く設定されている。
- ・人権を意識されているわりには、男女平等と考える市民が少ないと思われ、一定の市民に対する事業を行っているのではないかと考えられる。
- ・市民が「人権」について身近な課題であると認識し、自ら意識を持って研修等に参加するような取組を進めていただくよう要望する。
- ・本基本施策は、SDGs の 17 のゴールに掲げられている「ジェンダー平等を実現しよう」「平和と公正をすべての人に」、そして「パートナーシップで目標を達成しよう」に直結する分野であると考えられるため、今後も SDGs を意識した施策の推進にご尽力いただきたい。

## 基本施策 6 2 地域コミュニティの充実

- ・「市民自治の啓発」に関して、成果指標は自治基本条例等年間周知回数を 9 回と掲げており、実績とすると 6 回に留まっており、昨年度と比較しても増減していない。内部評価の課題では、「市民の認知度は高いとは言えない状況」との認識もあり、それらを改善するためにも目標達成への取組を推進していただきたい。
- ・「地域自治の推進」に関しては、各地域のまちづくりを担う組織として地域会議や実働組織があるが、委員や事業にマンネリ化が見られると思う。
- ・地域予算に関しては、ハード事業が多く、ソフト面の事業も取り入れて欲しいと思う。また、子育て世代の方々に委員になっていただくことで、栃木市に定着するような取組を仕掛けていくことも必要ではないか。

## 基本施策 6 3 行財政運営の充実

- ・「行政改革・デジタルの推進」に関しては、成果指標の 1 つである公共施設の総床面積において、未達成となっている。一気に減らすことは難しいと理解するが、未利用施設の利用状況から施設の処分等を早急に進めていかなければ、維持費がかかり過ぎてしまうと思う。公共施設の統廃合は、市民サービスの低下と考えてしまうかもしれないが、人口減少という部分と、財政負担の軽減を市民の皆様に理解していただく必要があると思う。
- ・「財政基盤の強化」に関しては、成果指標として市税収納率は目標達成していることから評価したいと思う。しかし、負担の公平性を保つために、市民の納税意識の高揚を図ることや、一層の収納率の向上を目指す必要性についてを、内部評価の課題と掲げられていることから、滞納整理についての取組を推進していただきたい。
- ・人口減少に伴う財源確保がますます厳しくなることが想定されることから、行政の経常経費の縮減を強化するとともに、支出の抑制を意識し、身近なところから見直しを図っていただきたい。